

報告 2

国見山森林公園再開に向けて

1. 国見山及び国見山森林公園について

うつくしま百名山のひとつである国見山（標高 564m）は、南相馬市原町区の西側に位置し古くから地元の人々に親しまれてきた名峰です。

山頂へ向かう主な登山ルートが 3 か所あり、天候が良ければ山頂から太平洋を眼下に望むことができます。

平成 14 年度に国見山森林公園として整備された展望台からは、南相馬市の市街地、そして相馬市の松川浦、快晴の日であれば宮城県石巻市沖の金華山まで見ることもできます。

また、国見山森林公園の魅力を発信する目的で、令和 3 年 4 月にライブカメラを展望台に設置し、里山から沿岸部の眺望をホームページで公開し市内各地の映像を提供しています。

国見山森林公園にアクセスする林道も、昭和 62 年から整備を開始し平成 15 年に完成したことで、お子さまからご年配の方まで国見山中腹の展望台からの眺めを楽しむことが可能となっております。

2. 東日本大震災及び令和元年東日本台風による影響について

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災による原子力発電所事故をうけて、里山再生モデル事業にて国見山の森林整備及び散策道や国見山森林公園の除染を平成 30 年 10 月から令和 2 年 1 月の期間で実施しました。

除染完了間際には、令和元年 10 月の東日本台風によって国見山林道が被災しましたが、令和 4 年度末に復旧しました。

3. 国見山森林公園の修繕について

国見山林道の災害復旧が令和 4 年度末に完了したことから、国見山森林公園の修繕工事は令和 5 年度に福島避難解除区域等生活環境整備事業を活用して実施し、令和 6 年 3 月に修繕工事を終わりました。〔資料 2〕

4. 国見山森林公園再開に向けての放射性物質等調査について

令和 4 年 8 月 24 日に行った環境省との公園再開に向けた打合せ（環境省、環境再生プラザ、菊池製作所、林業係、環境回復推進課）により、環境再生プラザに放射性物質等調査を申し込み、国見山森林公園再開に向けて放射性物質等調査を実施していただきました。（R4.10 上旬～11 月末と R5 の公園整備工事前：ガンマカメラ撮影、歩行モニタリング、定点観測を実施）

令和 4 年 10 月 18 日には、井上委員に現地にて、今後の進め方について説明を行い再開までのスケジュールの確認を行いました。

5. 国見山森林公園の放射性物質等調査等を受けて

環境再生プラザによる放射性物質線量調査については、公園修繕工事の施工期間中及び完了後に再度同様の計測を行い、多目的広場の舗装や、デッキ周辺の舗装、擬木階段の設置・板柵工事などでの既存構造物の撤去等により、線量低減化の状況を確認するとしております。

また、スポット的に高い線量が確認された場所では、更に地上高 1 cm、1 m で計測し、放射線が地下から来るのか周辺から来るのかを確認し、局部的に線量が高かった山頂下の箇所については環境再生プラザと調整し、推進員による清掃活動を実施して頂きました。〔資料 3～6〕

○調査概要

・ガンマカメラ撮影 ・歩行モニタリング ・個人線量計 ・定点観測

○調査実施時期

- | | |
|---------|------------------------|
| ① 現状測定 | 令和 4 年 10 月から 11 月末に実施 |
| ② 工事施工前 | 工事着手前に実施 (R5. 4～5 月) |
| ③ 工事期間中 | 工事着工 ～ 工事工程に併せて適宜実施 |
| ④ 工事完了後 | 令和 6 年 4～6 月予定 |

6. 調査結果について市の見解

国見山森林公園は、令和 4 年度第 2 回環境回復推進委員会において毎月 1 回、年間 12 回利用した場合の年間被ばく線量は 0.02mSv と推定されました。この値は国の定める長期目標の年間追加被ばく線量 1mSv の 50 分の 1 となっています。その中で、委員からの意見として頂きました山頂付近の高線量箇所への対応について、今回清掃作業を行ったことへの調査計測を行い、低減効果を確認することができました。公園工事前後の線量の変化は、今後、調査結果をまとめて委員へ共有をしたいと考えます。

今後は、5 月 6 日に国見山森林公園オープン記念式典を開催し、市内外にこれまでの除染等の経過を周知するとともに、利用再開を周知することで、市民の森林振興に努めていく考えです。